

1本針・2本糸オーバーロックミシン

MO-522/252

取扱説明書

注意 安全にご使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでもご覧になれますように保管ください。

もくじ

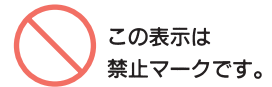
各部の名称…………… 1
 糸立装置の組付け方…………… 1
 ロック用糸、大型糸巻き糸、家庭用糸ゴマの場合
 動かす前の準備…………… 2
 コントローラーのとりつけ方
 *電源ランプスイッチ (MO-522のみ)
 各操作部とはたらき…………… 2
 ルーパーカバーの開閉、布台の開閉、
 押え上げレバー、押えの交換、針の交換、
 送り調節つまみ、上メスの解除、押え調節ネジ
 糸のかけ方…………… 3
 ルーパー糸、針糸

ためし縫い…………… 3
 糸調子ダイヤルの合わせ方…………… 3
 糸調子の調整方法…………… 3
 縫っている途中で糸が切れたとき…………… 4
 上メス、下メスの交換…………… 4
 *ランプの交換(MO-522のみ) …………… 4
 掃除と注油…………… 4
 針について…………… 4
 サービスをお申しつけになる前に…………… 5
 付属品・仕様表…………… 5

この取扱説明書は MO-522 と MO-252 の 2 機種種の併記の説明書です。MO-522 のみの仕様には仕様の前に * 印が付けてあります。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、下記のことがらは必ずお守りください。このミシンは日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY



警告 このマークの表示は感電、火災の原因となりますから、特にご注意ください。

- 一般家庭用交流電流100Vでご使用ください。
- 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。電源スイッチのついていない機種は電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき。
 - ミシンをご使用になったあと。
 - ミシンのご使用中に停電したとき。

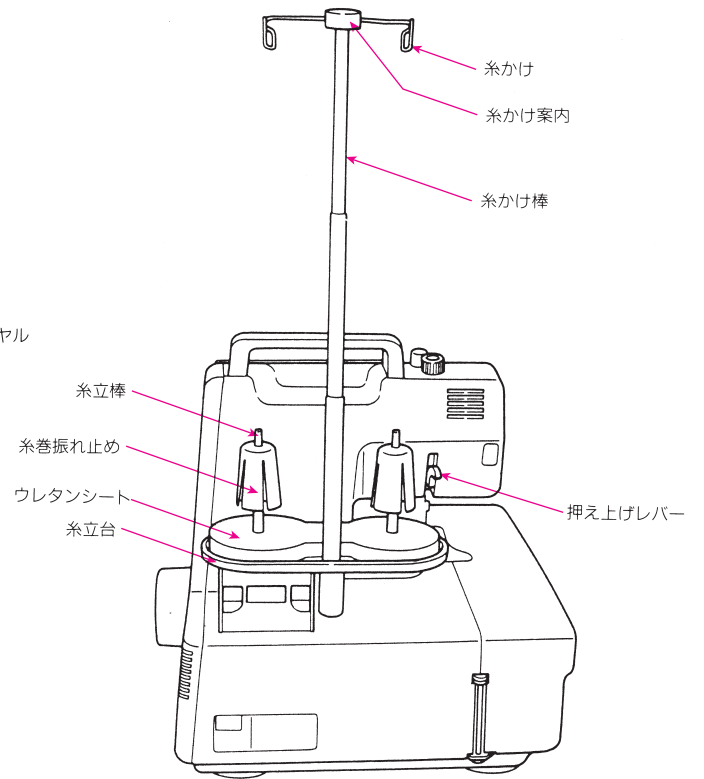
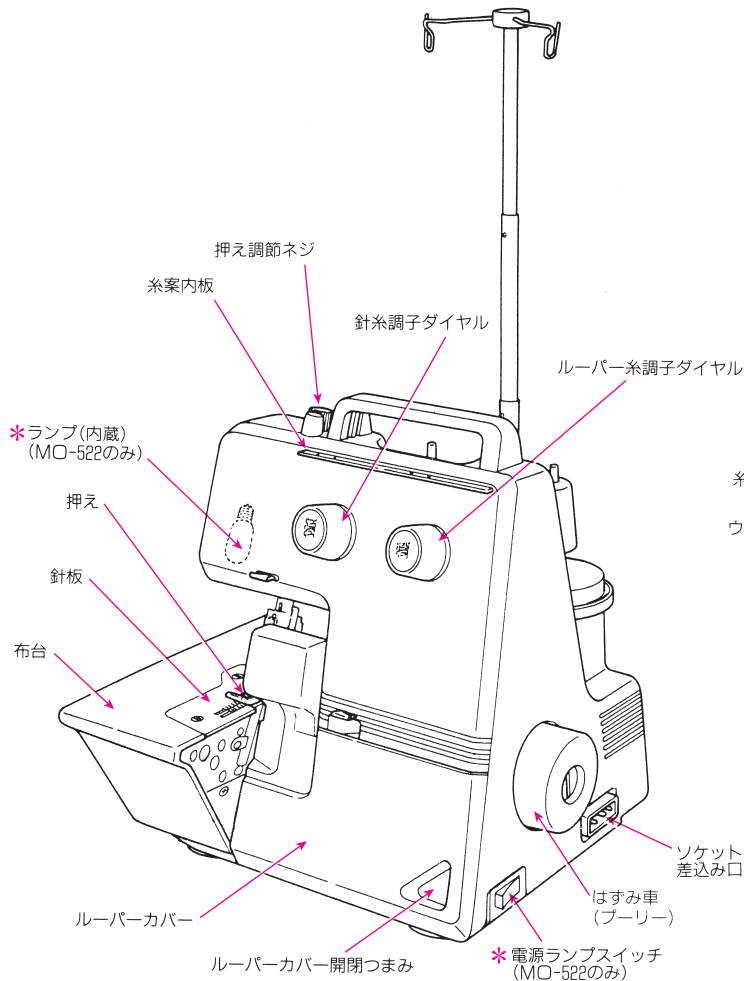
注意 このマークの表示は感電、火災、けがの原因となりますから、特にご注意ください。

- コントローラーの上に物をのせないでください。
- お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
- ミシンを操作するときはルーパーカバー、布台カバーなどカバー類を閉じてください。

- ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、メス、ルーパー、はずみ車、天びんなど、すべての動いている部品に手を近づけないでください。
- 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。
- 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。
- お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全にご注意ください。
- 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。電源スイッチのついていない機種は電源プラグを抜いてください。
 - 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき

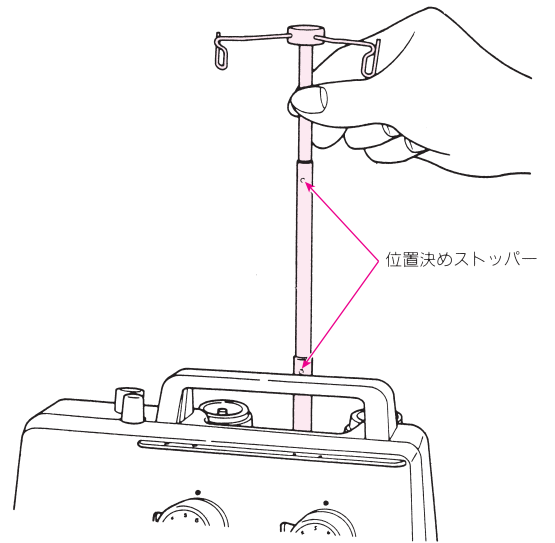
- 針糸、ルーパー糸をセットするとき。
- ランプを交換するとき。(ランプが冷えてから行ってください。)(別売のランプも同様です。)
- 取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。
- 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。
- ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは速やかに使用停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
 - 正常に作動しないとき。
 - 落下などにより破損したとき。
 - 水に濡れたとき。
 - 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
 - 異常な臭い、音がするとき。

各部の名称



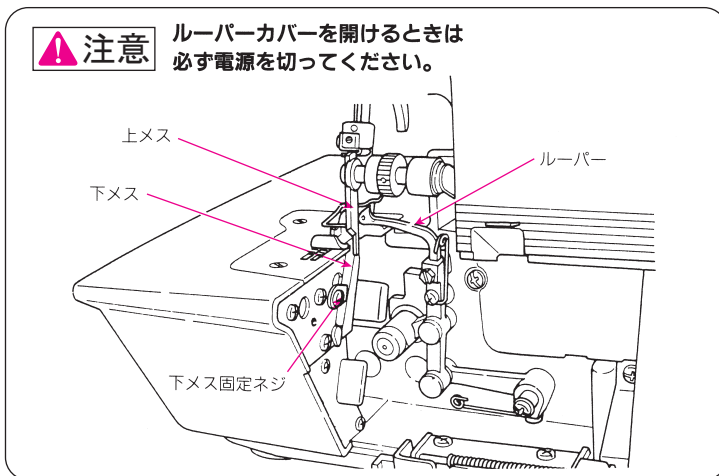
糸立装置の組付け方

- 糸かけ棒をのぼします

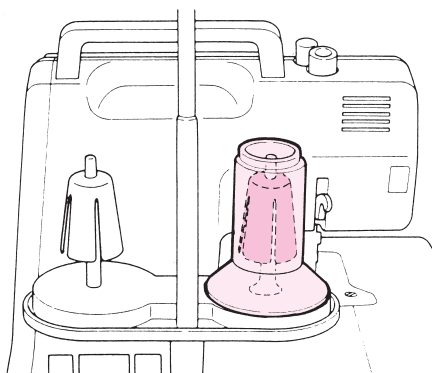


「カチッ」と音がして位置決めストッパーにかみ合うまで回します。

■ルーバーカバーを開けたところ



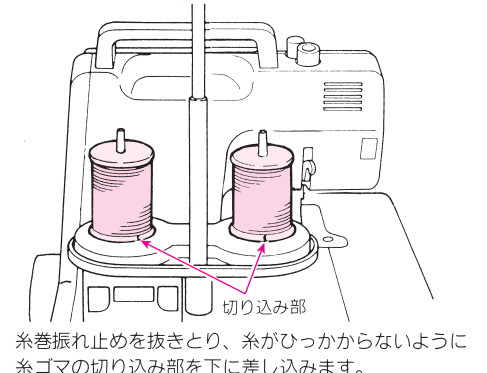
■ロック用糸の場合



■大型糸巻き糸の場合



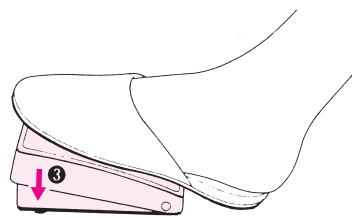
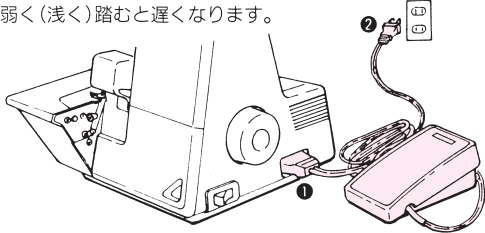
■家庭用糸ゴマの場合



動かす前の準備・各部の操作とはたらき

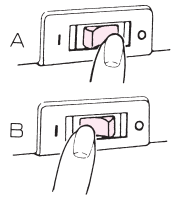
■コントローラーをとりつけます

- ①コントローラーをソケット差し込み口に差し込みます。
- ②つぎにプラグを室内コンセントに差し込みます。
- ③コントローラーの上に足をのせます。
 - ・コントローラーを強く(深く)踏むと速くなり、弱く(浅く)踏むと遅くなります。



* 電源ランプスイッチの入・切について (MO-522のみ)

- A. O側を押すと電源が切れます。
- B. |側を押すと電源が入り、ランプもつきます。



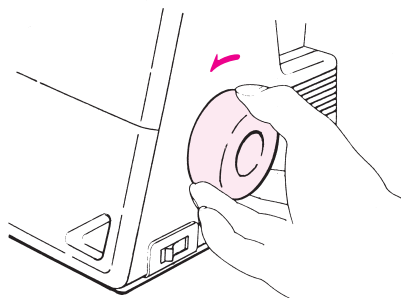
⚠ 注意 ミシンをお使いにならないときは下記のことを行ってください。

1. 電源プラグを必ず室内コンセントから、はずしてください。
2. コントローラーの上に物を乗せないでください。

■はずみ車(プリー)について

はずみ車は手前に回します。

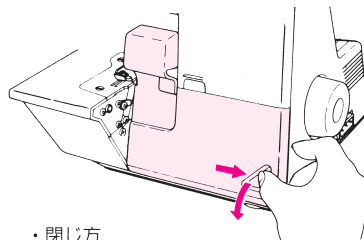
*糸を通したあと、縫い始め、縫い終りなど、はずみ車を回すときは必ず手前に回してください。



■ルーパーカバーの開閉について

⚠ 注意 ルーパーカバーを開けるときは必ず電源を切ってください。

- ・開け方
ルーパーカバー開閉つまみを右側に引いてから手前に倒します。

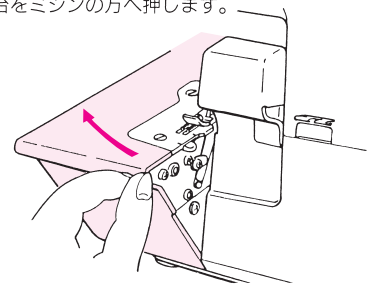


- ・閉じ方
ルーパーカバーを上にあげ、軽く向こう側に押すと自動的に閉じます。

■布台の開閉について

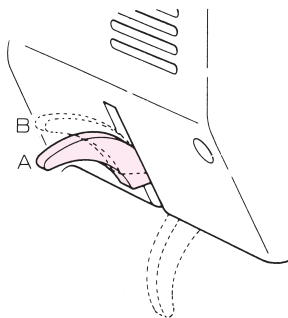
⚠ 注意 布台を開けるときは必ず電源を切ってください。

- ・開け方
布台の手前を左側に押しますと開きます。
- ・閉じ方
布台をミシンの方へ押しします。



■押え上げレバーについて (押えを上、下させます)

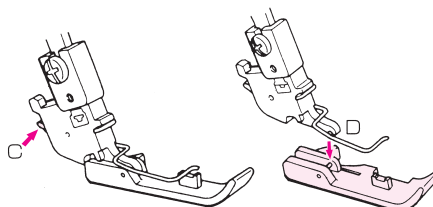
- A. 通常の場合、A位置まで上がります。
- B. 押えの交換や厚布など押えと針板とのすき間を必要とするとき、B位置まで上げます。



■押えの交換

⚠ 注意 押えの交換のときは電源を切ってください。

1. 押えを上げます。
2. はずみ車を回し針を一番上まで上げます。
3. O部を押すと押えがはずれます。
4. 押えをとりつけるには押え上げレバーをB位置に上げ、押えのピンをホルダーの溝の下(D)に正しく置き、押え上げレバーを下げれば自動的にセットされます。

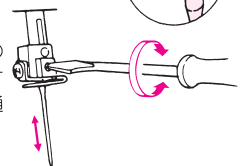


■針の交換

⚠ 注意 針の交換のときは電源を切ってください。

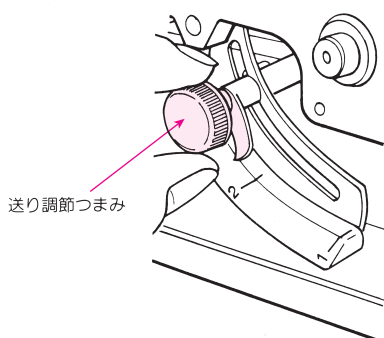
1. はずみ車を回し針位置を一番上まで上げます。
2. ドライバーを使い、針止めネジをゆるめて針をはずします。
3. 針の平らな面を向こう側に一番奥まで差し込みます。そしてしっかりとネジを締めます。

使用針は家庭用ミシンのHA×1の11番、14番です。11番は標準(薄物、普通物)です。14番は厚物用です。



■送り調節つまみ(縫い目の長さ調節)

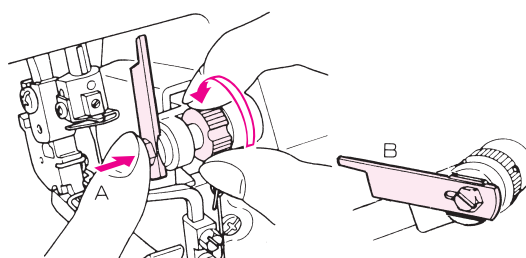
送り調節つまみを回してネジをゆるめ、お好みの位置に合わせてから締めます。目盛の数字が大きくなると縫い目は荒くなります。標準の縁かがり縫いは「2.5」です。



■上メスの解除

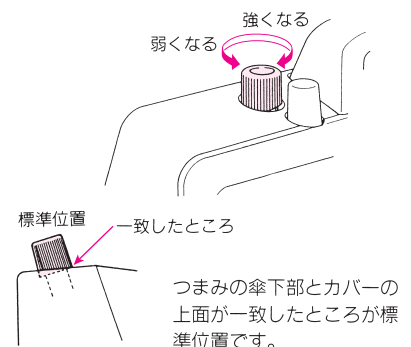
⚠ 注意 上メスの解除のときは電源を切ってください。

1. ルーパーカバーを開けます。
2. A部を右いっぱいまで押します。
3. その状態で中央のつまみを矢印の方向に回します。
4. Bの位置まで回して止めます。



■押え調節ネジ

押え圧力の標準位置は押え調節ネジの下端とカバーの上端が一致したところ。特殊な布地以外は標準位置で調節する必要はありません。



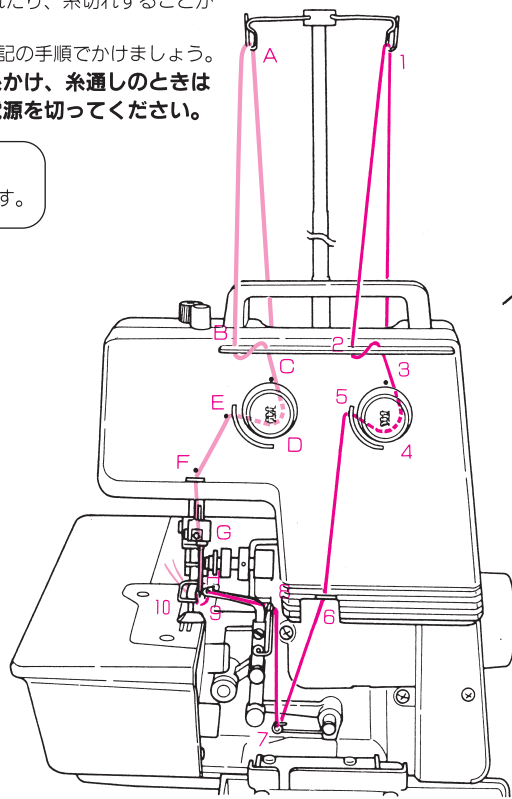
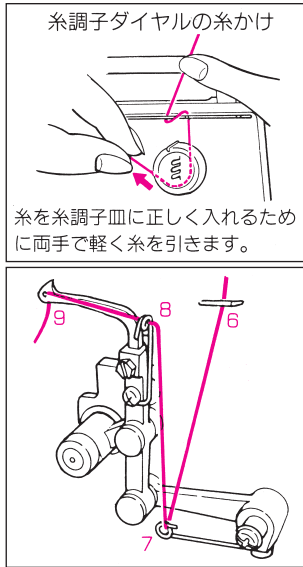
糸のかけ方・ためし縫い・糸調子の合わせ方

糸のかけ方をまちがえますと縫い目が乱れたり、糸切れすることがありますので正しくかけましょう。

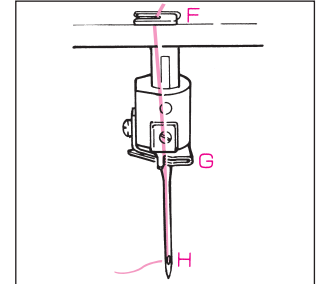
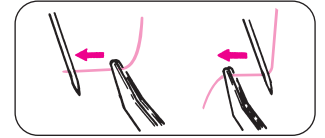
糸かけ図と色表示がついていますので、下記の手順でかけましょう。

■糸かけ順序 **⚠注意** 糸かけ、糸通しのときは電源を切ってください。

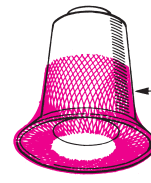
1. 最初にルーパー糸(1~10) (赤色印)
2. 次に針糸[A~H](青色印)をかけます。



※各穴に糸を通すとき、付属品のピンセットを使いやすく便利です。



※糸は各穴から10cm位引き出し、押えの下にそろえて入れます。



←ネット

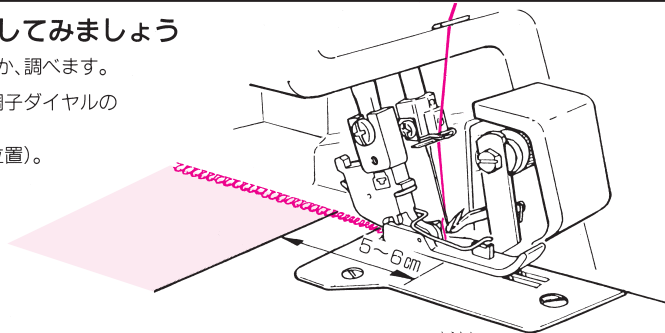
● 撚りの強い糸にはネットをご使用ください

糸のよりが強く糸かけ案内などにからむ場合には付属のネットを糸ゴマにかぶせてお使いください。

■糸かけが終わったら、ためし縫いをしてみましょう

1 枚の布地を使い、縫い目や糸調子が正しいかどうか、調べます。

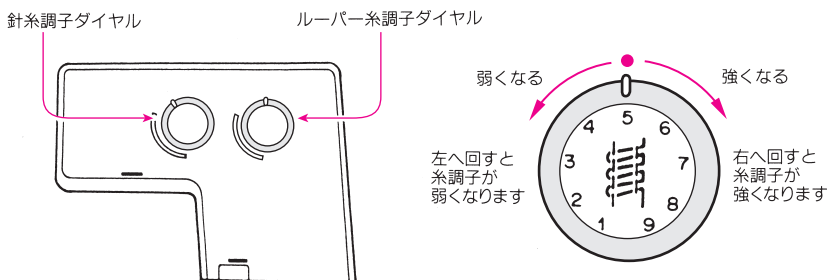
1. 針糸調子ダイヤルの目盛を“4”にルーパー糸調子ダイヤルの目盛を“5”に合わせます。
2. 上メスが下がっているかを確認めます (切断位置)。
3. 押えを上げます。
4. 押えの下に布地をおきます。
5. 押えを下げて縫います。*
6. 縫い終わったら5~6cm空環を縫います。



*空環とは：布地がなくて、糸の縫い目形状ができたものです。
※糸調子ダイヤルの目盛は布地や糸の種類により変化します。

■糸調子ダイヤルの合わせ方

不完全な縫い目は糸調子ダイヤル目盛(1~9)を調整するだけで修正できます。



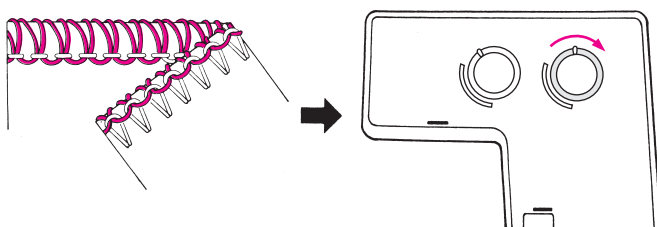
	ダイヤル目盛の目安
ルーパー糸調子ダイヤル	4~6
針糸調子ダイヤル	3~5

※フィラメント糸やウーリー糸などは変化します。

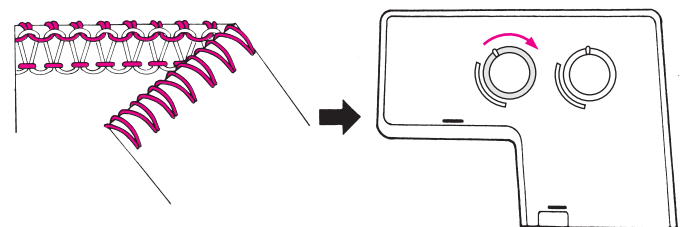
■糸調子の調整の仕方

糸調子ダイヤルは1目盛か半目盛ずつ回し、ためし縫いをしながら調節します。

●ルーパー糸が布地の下に出る場合



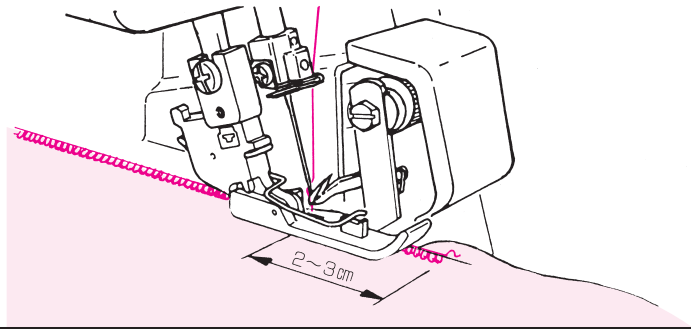
●針糸が布地の上に出る場合



途中で糸が切れたとき・上メス、下メス交換・ランプの交換・掃除と注油・針について

■縫っている途中で糸が切れたとき

1. すぐに縫いを中止して、布地をはずします。
2. 切れた糸をかけなおします。
3. 押えを上げ、布地をその下に入れます。
すでに縫われた縫い目の上を2~3cm重ねて縫います。



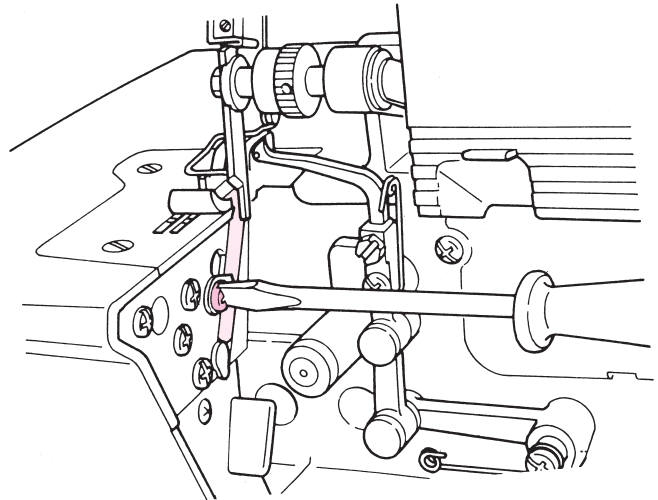
■上メスの交換

上メスは特殊超硬材を使用していますので、普通は交換する必要はありませんが、刃先がかけたとき交換します。
そのときはお買い上げいただきました販売店にご相談ください。

■下メスの交換

注意 下メスの交換のときは必ず電源を切ってください。

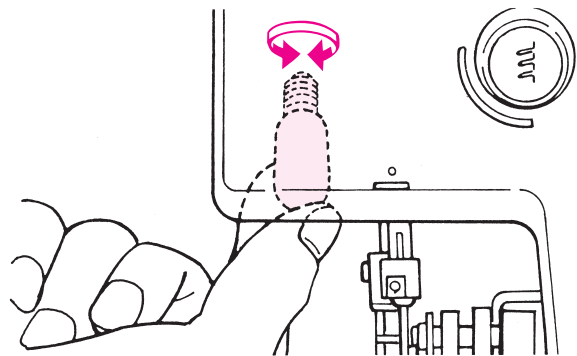
1. はずみ車を手前に回し、針を一番上にします。
2. 上メスを解除します。
3. ドライバーで下メス固定ネジをゆるめ、下メスをとりはずします。
4. 新品(別売)の下メスを下メスホルダーの溝に入れ、下メスを上下調節器にあてます。
(下メスの刃先が針板上面と同じ高さになります)
5. 最後に下メス固定ネジを強く締めて、固定します。



* ランプの交換 (MO-522のみ)

注意 ランプ交換のときは必ず電源を切ってください。

ランプをゆるめてはずし、新しいランプをとりつけます。
ランプの消費電力は15Wです。
お買い上げ販売店でお買い求めください。

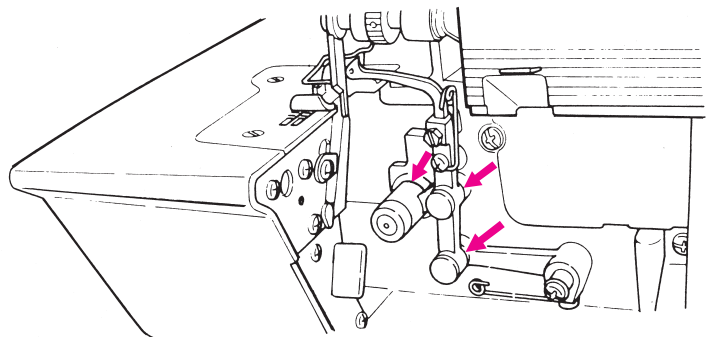


■掃除と注油

注意 掃除や注油のときは必ず電源を切ってください。

ミシンをご使用になりますと、綿ぼこりがたまりますので定期的にとり除きます。

このミシンには重要な部分に特殊材料を使用していますが、ご使用前に図示したところへミシン油を1~2滴さしてください。



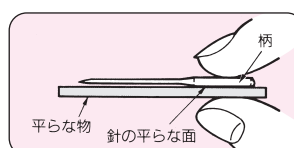
■針について

この小型ロックミシンの針は家庭用ミシン針を使います。

針の種類	針の太さ	用途
HA×1	11番	標準(薄物、普通用)
	14番	厚物用

*お買い求めの際は、このタイプの針をご指定ください。

■針の調べ方



すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。
針先が曲ったり、つぶれているものは使わないでください。

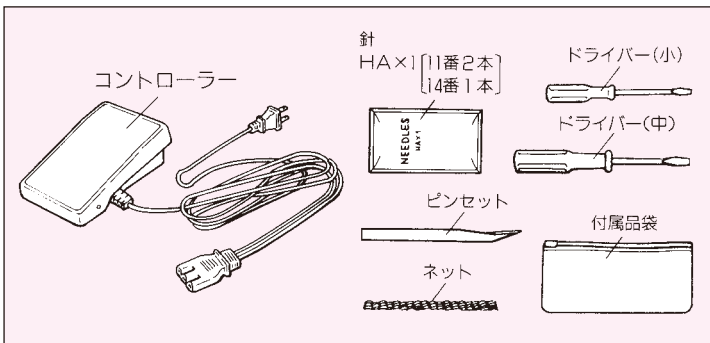
■サービスをお申し付けになる前に

次のような場合は故障ではありません。サービスをお申し付けになる前にもう一度確かめてください。

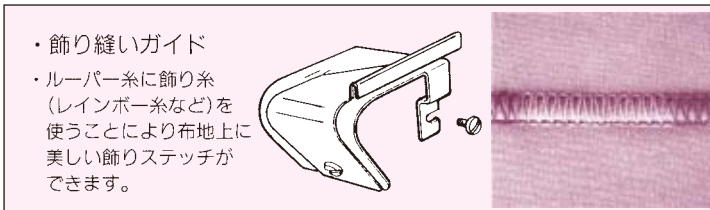
現象	原因 (理由)	処置方法	ページ
布地を送らない場合	①押えの圧力が弱すぎる時。	・押え調節ネジを右へ回し、押え圧を強くします。	2
針が折れる場合	①針が曲っていたり、針先がつぶれている時。	・新しい針にとりかえます。 ・正しくとりつけます。 ・縫っているときは布端に手をそえるだけにします。	4
	②針のとりつけが悪い時。		2
	③布地を無理にひっぱった時。		1
糸が切れる場合	①糸のかけ方がまちがっている時。	・正しくかけなおします。 ・糸調子を弱くします。 ・正しくとりつけます。	3
	②糸調子が強すぎる時。		3
	③針のとりつけが悪い時。		2
目とびがする場合	①針が曲っていたり、針先がつぶれている時。	・新しい針にとりかえます。 ・正しくとりつけます。 ・正しくかけなおします。	4
	②針のとりつけ方が不完全な時。		2
	③糸のかけ方がまちがっている時。		3
縫い目の調子が悪い場合	①糸調子が不完全な時。	・正しい糸調子になおします。	3
縫いしわがよる場合	①針糸調子が強すぎる時。	・針糸調子ダイヤルの目盛を小さい方へ合わせます。 ・正しくかけなおします。	3
	②糸のかけ方がまちがっていたり、必要以外の場所に糸がからんでいる時。		3
モーターの故障	①雑音がする。 ②モーターが全然回らない。 ③火花が異常に大きい。	} カーボンブラシを交換します。 (注)カーボンブラシの交換はお買い上げの販売店に依頼してください。	—

※上記の方法でも直らないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

■付属品



■別売付属品



■仕様表

項目	仕様	
使用糸数	2本	
使用針	HA×1、11番、14番	
かがり幅	3.5mm	
縫い目の長さ(送り量)	1～4mm(標準送り量2.5mm)	
押え上げ量	4mm	
縫い速度	最大1,500針/分	
ミシンの大きさ	幅270×奥行250×高さ285mm	
重量	6.3kg	
消費電力	MO-522	ミシン本体 100V/90W ランプ 100V/15W
	MO-252	ミシン本体 100V/90W
定格周波数	50/60Hz	

JUKI

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、お買い上げのお店、または下記のお客様相談室へお問い合わせください。

フリーダイヤル

☎0120-677-601

年末年始・夏季休暇・祝祭日を除く

平日(月～金) 9:00～12:00、13:00～17:45

Copyright © 1996-2011 JUKI CORPORATION

本書の内容を無断で転載、複写することを禁止します。

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧2-11-1

